

< 草津市立中央幼稚園 園章 >



< 草津市立中央幼稚園 園歌 >

「ポケットにいっぱい」

作詞 昭和50年度中央幼稚園職員一同

作曲 小田 豊

1. ポケットに ポケットに いっぱい
おひさまを おひさまを つめたら
空に のぼれるよ
ふんわり 雲に のっかって
世界中を まわるんだ
みんな みんな 明かるい子
2. 手のひらに 手のひらに いっぱい
うみの水 うみの水 すくうと
さかなに なれるんだ
ぐんぐん ふかく もぐって
まっかな さんごと あそぼうよ
みんな みんな 元気な子
3. 目の中に 目の中に いっぱい
ともだちが ともだちが うつると
手と手 つなげるよ
まるい 大きな わになって
ぼくも わたしも 歌おうよ
みんな みんな 仲よしだ

中央幼稚園の園章・園歌

園章	作者	不明
	作成年	不明
	園章の由来 (園章の表すもの)	童謡の「チューリップ」の歌詞『あか・しろ・きいろ どの花みてもきれいだな』のように、一人ひとりの個性を大切にした教育を職員一丸となつてすすめていく。
園歌	作詞	昭和50年度 職員 7名 ※園歌を作成することになった年にかかわっていた職員で作詞されたと推測される。
	作曲	小田 豊 (現 聖徳大学児童学科 教授、 元 滋賀大学教育学部 教授、 内閣府幼保一体化ワーキング委員) ※幼児教育の研究会等で関わりの深かった滋賀大学教員に依頼したものと推測される。
	作詞・作曲年	昭和51年2月1日

志津幼稚園 園歌

作詞 太田 源太郎

作曲 森井 嘉子

福井 恵子

一、 みどり いっぱい はな いっぱい
ひろい おにわで あそびます
こどりと いっしょに うたいます
ぼくも わたしも おともたち
たのしい なかよし しゅようちえん

二、 おひさま にこにこ かおだした
おつむ あつめて かんがえる
たのしい おはなし いたします
ぼくも わたしも おともたち
げんきな なかよし しゅようちえん





大路幼稚園 園歌

作詞 平成15年度 保護者・教職員
作曲 測上 友紀

おはよう みんな
ともだちが 呼んでいる
手と手をつないで さあ！
遊ぼうよ
みんなの笑顔が すてきだな
みんな大好き 大路幼稚園 おー

小鳥や虫も
みんなみんなみんな おいで
元気な声だして さあ！
歌おうよ
みんなの笑顔が すてきだな
みんな大好き 大路幼稚園 おー

仲良し みんな
友達と輪になって
勇気を出して さあ！
やってみよう
みんなの笑顔が すてきだな
みんな大好き 大路幼稚園 おー

天倉幼稚園の歌

じよんごがっこう ちんごがっこう
 じよんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう

じよんごがっこう ちんごがっこう
 じよんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう

じよんごがっこう ちんごがっこう
 じよんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう
 ちんごがっこう ちんごがっこう



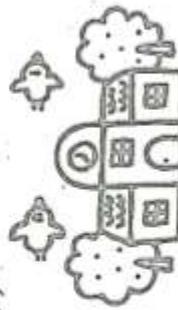
老上幼稚園 園歌

作詞 草川 邦章
作曲 永井 純一

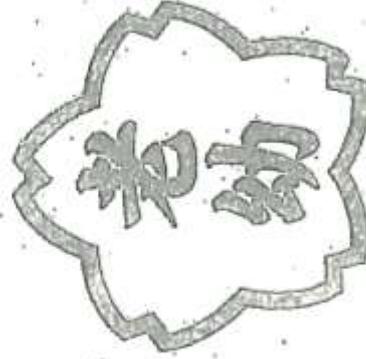
青いお空に お日様にここに
よい子も笑顔で いきいきと
きょうもみんなで 手をつなぎ
なかよくゆかいに遊びます
楽しい老上幼稚園

広いお庭に お花がいっぱい
小鳥も一緒に のびのびと
きょうもみんなで 輪になって
明るく元気に歌います
楽しい老上幼稚園

赤いほっぺに みどりの風が
やさしくふいてて すくすくと
きょうもみんなで 助け合い
こころからだを鍛えます
楽しい老上幼稚園



(制定 平成元年三月)



老上幼稚園
園章



山田幼稚園 園歌

1. わたしらよいこ 山田の子
みんな元気にあつまって
小鳥のように うたいましょう
楽しい楽しい幼稚園
2. わたしらよいこ 明るい子
みんな力をよせあって
きれいなお花を咲かせましょう
楽しい楽しい幼稚園
3. わたしらよいこ 素直な子
みんな仲良く輪になって
おでつないで 遊びましょう
楽しい楽しい幼稚園

笠縫幼稚園 園歌

作詞 芝田 恭子

作曲 大西 友之進

1. 明るいお日さま にににこと

小鳥も一緒に うたいます

ほくもわたしも おともたち

たのしい たのしい 笠縫幼稚園

2. 明るいお部屋で にににこと

おつむあつめて 相談します

ほくもわたしも おともたち

たのしい たのしい 笠縫幼稚園

3. 明るい笑顔で にににこと

みんな仲よく 遊びます

ほくもわたしも おともたち

たのしい たのしい 笠縫幼稚園



常盤幼稚園

園歌

一	お	日	さ	ま	明	る	く	き	ら	き	ら	と
	お	空	に	晴	れ	て	て	う	れ	し	い	な
	み	ん	な	笑	顔	の	手	を	つ	な	ぎ	
	よ	い	子	が	仲	よ	く	集	う	の	は	
	楽	し	い	楽	し	い	常	盤	幼	稚	園	
二	み	ど	り	の	そ	よ	風	さ	ら	さ	ら	と
	お	窓	に	吹	い	て	て	う	れ	し	い	な
	み	ん	な	描	っ	て	輪	に	な	っ	て	
	よ	い	子	が	元	気	に	歌	う	の	は	
	楽	し	い	楽	し	い	常	盤	幼	稚	園	
三	か	わ	い	い	蝶	々	も	ひ	ら	ひ	ら	と
	お	庭	に	飛	ん	で	て	う	れ	し	い	な
	み	ん	な	希	望	の	胸	は	っ	て	て	
	よ	い	子	が	す	く	す	く	育	っ	の	は
	楽	し	い	楽	し	い	常	盤	幼	稚	園	

作 詞
作曲

南
大

西

英 市
友 之 進



■笠縫東こども園

【園名】

応募数 園名 100件

⇒<決定>「草津市立笠縫東こども園」

<選定理由> (「草津市立認定こども園の園名案について(答申)」より)

地域からの親しみやすさの面から、笠縫東幼稚園という、地域の名称が付けられた園名が長年親しまれている。

また、子どもの育ちへの願いの面から、子どもや保護者に長年歌い継がれてきた園歌があり、その歌詞には育ちへの願いが込められており、園名も含まれていることから、「笠縫東」の名称と現在の園歌が、認定こども園への移行後も引き継がれることが、望ましいと思われる。

これらの地域からの親しみやすさと子どもの育ちへの願いを総合的に勘案し、「草津市立笠縫東こども園」を園名案として選定する。

【園章】

応募数 園章 53作品

⇒<決定>



<園章趣旨>

「子ども」の“子”と「笠縫東」の“か”を組み合わせ、その中に幼児をイメージさせる顔を配して、笑顔があふれる園を表しています。

【園歌】

※従来の笠縫東幼稚園園歌の園名を「笠縫東こども園」に変更

笠縫東こども園 園歌

作詞・作曲 北島 雅晴

一 あなたもわたしも きみもぼくも
遊ぼう遊ぼう 一緒に遊ぼう
みんなの力を 合わせれば
大きな琵琶湖が 作れるよ
笠縫東こども園

二 大地の上には 虫も花も
みんないっぱい 生きているんだね
みんなの気持ちを 合わせれば
やさしい心になれるから
笠縫東こども園

三 お空の雲が お散歩してる
世界の子ともと あいさつしてる
みんなの声を 合わせれば
大空いっぱい ひびくだろう
笠縫東こども園

<園歌作成の経緯>

昭和63年の開園10周年にあたり、当時、笠縫東小学校に勤務されていた北島氏(音楽担当)により作成され、同年10月30日の開園十周年記念式典で初めて披露されました。

■矢橋ふたばこども園

【園名】

応募数 園名 506件

⇒<決定>「草津市立矢橋ふたばこども園」

<選定理由> (「草津市立認定こども園の園名案について(答申)」より)

地域からの親しみやすさの面から、施設の立地場所である「矢橋」という名称が、地域の公共施設として、相応しいものである。

また、子どもたちの育ちへの願いの面から、「ふたば」は、発芽したときに最初に出る葉であり、ものごとの初めや幼児期を表しており、ひとつの根から2枚の葉が出る様子は、保育所と幼稚園というふたつの機能を併せもつ認定こども園で、子どもたちが協力し合って健やかに育ってほしいとの願いをよく表している。

これらの地域からの親しみやすさと子どもの育ちへの願いを総合的に勘案し、「草津市立矢橋ふたばこども園」を園名案として選定する。

【園章】

応募数 園章 52作品

⇒<決定>



<園章趣旨>

矢橋ふたばこども園の頭文字「や」を丸くデフォルメして、中心にこどもの笑顔を入れることで、こども園の輪を、そして、上の「や」の点にあたる部分を、ふたばに見立て、こどもたちの育ちのふたばと、保育所と幼稚園の二つの機能を併せ持つことを表しています。

【園歌】

応募数 園章 51作品

⇒<決定>

矢橋ふたばこども園 園歌

作詞 朝倉 修
作曲 若林 千春

一
うたこえそらに こだまして
ひえいのやまも はれている
たのしく げんきに すこやかに
ふたばのように みんな のびようよ
矢橋ふたばこども園

二
とてをつなぎ あそぼうよ
びわこのみずも ひかてる
やさしく つよく たくましく
ふたばのように みんな そだとうよ
矢橋ふたばこども園

三
にこにこえがお あつまれば
きんもくせいも わらってる
なかよく あかるく はつらつと
ふたばのように みんな かがやくよ
矢橋ふたばこども園

<園歌趣旨>

比叡山、琵琶湖、金木犀の花など豊かな自然環境の中、みんな楽しく遊び、助け合い、子どもたちが元気に育ってほしいという思いを込めています。